

<報道関係各位>

2016年6月2日

一般社団法人日本化学工業協会

## 冊子『化学品とのつきあい方～その利用と管理について～』 化学産業の顧客向けに発行

一般社団法人日本化学工業協会(住所:東京都中央区、会長:石飛 修 (住友化学(株) 代表取締役会長)以下、「日化協」)はこのたび、サプライチェーン全体を通じた、化学品の「リスクベースでの管理」の重要性を、主として化学産業の顧客の皆様にご理解いただくことを目的とした冊子、『化学品とのつきあい方～その利用と管理について～』(A4版、28ページ)を発行しました。

私たちの生活は多くの化学品によって支えられていますが、化学品は私たちの生活を豊かにする反面、使い方を誤ると私たちに悪い影響を及ぼしかねない側面を持っています。そこで、化学品から有害な影響を受ける可能性(リスク)を可能な限り小さくして、その有用性を最大限に引き出すための「リスクベースでの管理」が大切です。本冊子では、私たちの生活に密着した幾つかの化学品を事例としてとりあげ、「リスクベースでの管理」の重要性を説明しています。

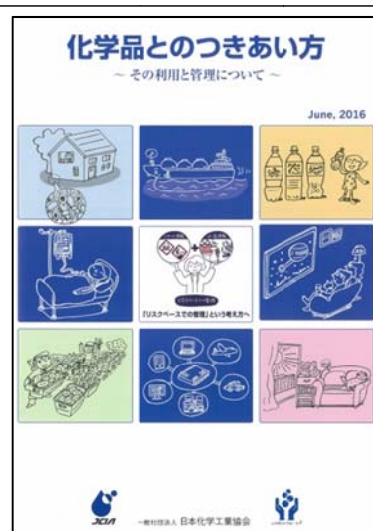
いま世界の化学産業界は、化学物質に関する世界共有の中長期目標『予防的取組方法に留意しつつ、透明性のある科学的根拠に基づくリスク評価手順を用いて、2020年までに全ての化学物質を人の健康や環境への影響を最小化する方法で生産・利用されること』を達成すべく、グローバルプロダクト戦略(GPS)を策定し、サプライチェーン全体を通じて「リスクベースでの管理」に取り組んでいます。日本でも、日化協が GPS の日本版である“GPS/JIPS\*”に2009年より取り組んでいます。サプライチェーン全体での「リスクベースでの管理」にはリスクに関する情報の共有が必須ですが、GPS/JIPS では安全性要約書にリスクに関する情報を記載して公開しています。本冊子では安全性要約書の役割・活用などについても解説しています。

\*GPS/JIPS: Global Product Strategy/ Japan Initiative of Product Stewardship

日化協では、今後、消費者の皆様への説明資料も作成し、サプライチェーン全体で化学品の「リスクベースでの管理」をご理解いただけるよう努めてまいります。

### 冊子「化学品とのつきあい方、～その利用と管理について～」概要 (A4版、28ページ)

- P02 化学品管理の流れ
- P04 目次
- P05 化学品のリスクとベネフィット(有用性)
- P06 もし、あの化学品がなかったら...
- P18 「リスクベースでの管理」という考え方
- P20 サプライチェーン全体での情報共有と管理の必要性
- P21 そのための化学産業界の取り組み(GPS/JIPS)
- P22 サプライチェーン全体で共有される「安全性要約書」
- P24 現場で活かす「安全性要約書」
- P26 化学産業の顧客のみならずへ
- P26 化学物質を活かした豊かな暮らしのために
- P27 ごあいさつ



<<本件に関するお問い合わせ先>>

報道関係の方 : 一般社団法人日本化学工業協会  
 その他の方 :

広報部 松本 TEL:03-3297-2555  
 化学品管理部 斎藤 TEL:03-3297-2567